

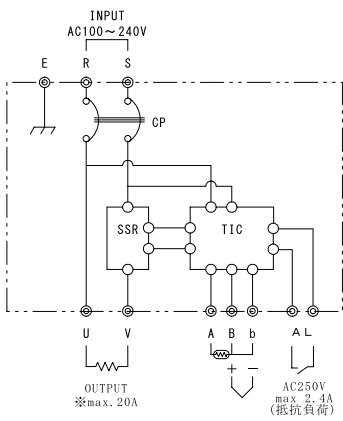
## ●仕様

- ・使用場所 屋内(0~30℃・但し、結露無きこと)
- ・過電流遮断 ブレーカスイッチ
- ・制御 PID制御(セルフチューニング機能付)
- ・センサー入力 熱電対(K・J・R・T・N・S・B)  
測温抵抗体(Pt100Ω・JPt100Ω)  
※パネル設定により切替可 出荷時設定、熱電対(K)
- ・アラーム出力 イベント出力1(AL1)  
接点容量 AC250V 2.4A(抵抗負荷)
- ・定格 AC100/200V 1φ ※20A ※突入電流の無い抵抗負荷

●本製品はPID制御(時間比例制御)とON/OFF制御を行う事が出来ます。それぞれの制御の特徴は次の通りです。特徴をふまえた上で、選択してください。

	PID制御	ON/OFF制御
長所	ON/OFF制御に比べて良い制御結果得られます。	設定値までは通電している為立上りが早い
短所	設定値に到達する前に温調する為、立上りに時間を要します。	制御値がPID制御に比べて悪い
イメージ		

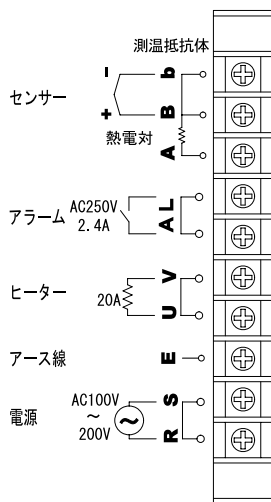
## ●回路



※シングルは、同回路が1系統  
ダブルは、同回路が2系統となります。

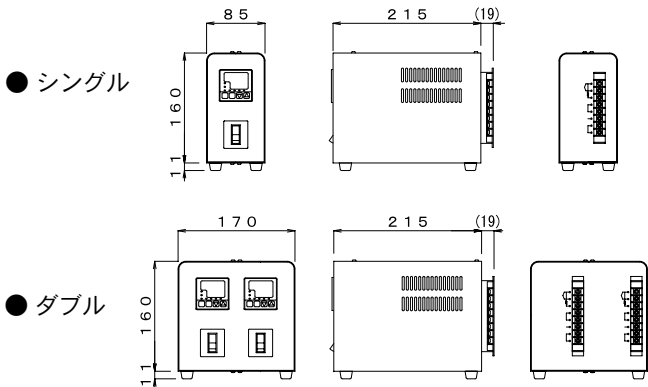
※最大電流は突入電流の無い抵抗負荷です。  
モーターやランプ、純金属系(タングステン)・セラミック系(PTC等)のヒーターはご使用になれません。

## ●配線



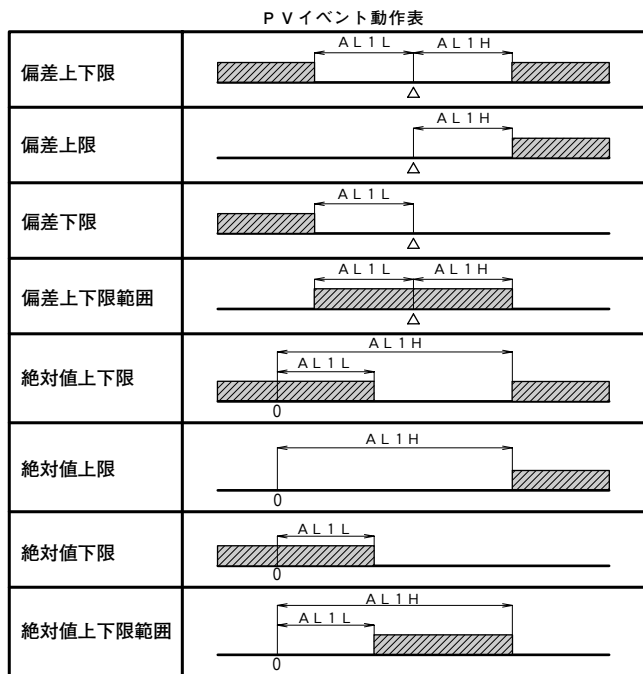
※シングルは、同端子台が1つ  
ダブルは、同端子台が2つとなります。

## ●外形寸法



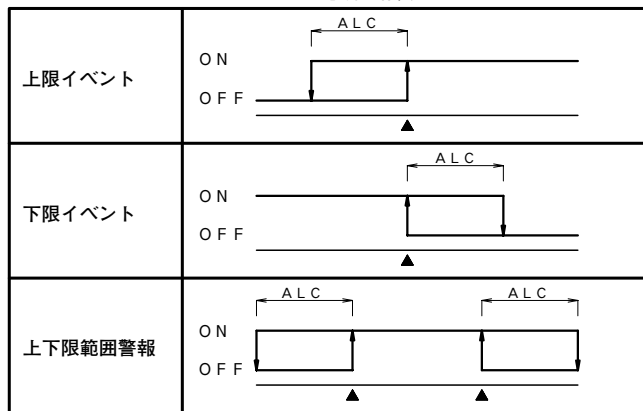
## ●イベント動作

◎PVイベントはPV(測定値)とイベント数値とを比較しイベントリレーをON/OFFさせる機能です。  
PV(測定値)異常の検知や他のシステムの起動/停止等に有効です。



AL1L: イベント1の下限設定値    Δ: SVの位置  
AL1H: イベント1の上限設定値    ■: イベントON領域

## イベント感度動作表



ALC: 警報感度設定    ▲: 警報動作点

## 安全に正しくお使いいただく為に

警告	注意
<p>人が死亡又は重症を負う恐れが高い内容を示します。</p>	<p>人が怪我をしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示しています。</p>
<p><b>警告</b></p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○本製品を加熱器の制御以外での目的で使用しないで下さい。</li> <li>○本製品を持ち運ぶ時は、落としたり衝撃を与えないで下さい。怪我の原因になります。万一、本製品を落としたり強い衝撃を与えた場合は、販売店へご連絡下さい。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。</li> <li>○風通しの悪い所には設置しないで下さい。通風孔を塞ぐと本体放熱が悪くなり、火災や故障の原因になります。</li> <li>○電源コード・端子台等を破損するようなことはしないで下さい。傷んだままの使用は、感電・火災の原因になります。</li> <li>○本製品は、屋内専用です。屋外では使用しないで下さい。</li> <li>○揮発性・引火性のある物の近くでは使用しないで下さい。火災・感電の原因になります。</li> <li>○内部に金属物を入れないで下さい。火災・感電の原因になります。</li> <li>○火災・感電の原因になります。金属物が入った場合、一次側電源を切って販売店へご相談下さい。</li> <li>○煙・異臭・異音が出たり、落下・破損したりした場合、使用を中止して下さい。火災・感電の原因になります。</li> <li>○ご自身の分解や修理・改造は絶対しないで下さい。火災・感電の原因になります。修理は販売店へご連絡下さい。</li> <li>○配線を行う場合には、必ず電源を切った状態で行って下さい。火災・感電の原因になります。</li> <li>○ぬれた手で本製品を取り扱わないで下さい。感電・故障の原因になります。</li> <li>○水や薬品等の液体をこぼさないで下さい。火災・感電・故障の原因になります。液体をこぼした場合は、一次側電源を切って販売店へご相談下さい。</li> </ul>	
<p><b>注意</b></p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○寒い場所や直射日光の当たる所、冷暖房機の近く、湿度の高い場所には置かないで下さい。30℃以上0℃以下の極端な場所では、誤動作・変形・故障の原因になります。85%を超えた湿度環境、氷結・結露のする場所では絶対になり火災・感電の原因になります。</li> <li>○万一、漏電した場合の感電事故防止の為に、アース線を取り付けて下さい。アース線の取付けられる場所。端子台のアース端子(E)銅片等を65cm以上地中に埋めた物、設置工事(D種)が行われている所。</li> <li>○電源を切った直後に出力端子に触れないで下さい。内蔵スタバ回路に電荷が充電されている為、感電の原因になります。</li> </ul>	

本製品についての御問合せは、下記まで御連絡下さい。



株式会社 富士電熱開発社

本社工場 〒538-0041 大阪市鶴見区今津北2丁目7番23号  
TEL.06(6967)4852(代) FAX.06(6967)4850  
<http://www.fujidennetsu.co.jp>